

カワセミ(カワセミ科) 全長 17 センチ

大仙市の鳥カワセミの観察会を4月8日、中川原公園で開催し、本ページで紹介してきました。その後順調に子育てに励んでいる様子が確認でき、雛の巣立ちを待ち望んでいたところです。

ところが、5月18～19日の大雨洪水によりコンクリート製の営巣地が水没してしまったのです。これまで経験のない梅雨入り前の大洪水でした。

カワセミは3か所ある巣穴の一番奥の穴を使い、今頃は雛が産まれて間もなく巣立ちを迎える時期だったのです。一日中水没した巣穴の雛は逃げ出すことが出来なかったでしょう、残念ながらあきらめざるを得ませんでした。



20日、巣穴の前に設置した止まり木で休む。

やっと水が引いた20日に現場に向かった。

なんとカワセミは災害にもめげず、新たに隣の巣穴を使い穴掘りを始めていたのです。オス、メス交互に巣穴に入っていきます。穴から出てくるとクチバシには土が付いていることからはっきりと巣穴工事が確認されます。こんなに早く復旧工事を始めたとは、驚きでした。



水没した巣穴を諦め、新たに隣の穴を掘り始めました。



顔をのぞかせて周囲を警戒する。クチバシ先端には土が付いています。

数日後には求愛給餌と交尾も観察され、一から出直しを始めたことが分かります。災害なんかに負けてたまるものかと、逞しく生きるカワセミを眺め、こちらも元気をもらいました。

がんばれ、がんばれ カワセミ！



止まり木から巣穴を覗き、直ぐ飛び込んでいった。



右のオスは巣穴から戻ってきたところで、クチバシには土が付着している。間もなく左のメスも巣穴に入ってしまった。



危険域に達し大洪水となった、中川原公園。